



# HAKUBA H.S. Report Channel

## 白馬高校レポートチャンネル

令和5年1月16日（第177号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも  
ご覧ください⇒



12月16日 白馬フォーラム&糸魚川高校との交流学習

生徒の学びの報告会である『白馬フォーラム』をウイング 21 を会場に開催しました。昨年に引き続き、新潟県立糸魚川高校の1年生と校長先生をはじめ先生方が参加してください、本校から8組、糸魚川高校から1組が探究的な学びの実践報告を行いました。

本校の1年生は、KDDI 株式会社様と連携して取り組んだ『COLO』という旅行者向けの観光アプリコンテンツ制作についての発表を行いました。生徒たちが作成したコンテンツを含めた白馬版がリリースされていますので、ぜひご覧ください。また、当日発表した生徒のうち3人が12月22日に開催された糸魚川探究成果発表会でのプレゼンの機会をいただき、堂々とした発表を見せてくれました。



2年生は、長崎・福岡修学旅行報告や、生徒たちが運営するWEBページ『ワシづかみハクバ』における、村内の飲食店を紹介するブログ掲載の取り組みについての発表を行いました。また、国際観光科の生徒は、授業の一環で取り組んだ「英語ガイド実習」について、ガイドのデモを含めた対話型の発表を英語で行いました。



3年生は、デュアル実習の報告、大糸線活性化の提案、自ら取り組んでいるプロジェクトの発表を行いました。なかでも、蒸気機関車修復プロジェクトに取り組んでいる生徒は、一人で原稿なしでマイクを片手に舞台の中心に立って熱く語り、多くの聴衆の注目を集めました。糸魚川高校の生徒も現在取組中の活動について紹介し、互いに刺激合う報告会となりました。

当日の発表はどれも、活動や課題を自分事としてとらえていることが伝わるものでした。探究的な見方・考え方は社会に出てからも様々な場面で必要となります。生徒たちには、人とつながりながら自分の興味・関心に応じた探究を続けてほしいと思います。

また、この日の午後には、糸魚川高校の1年生と本校の2、3年生が「地域の方々と地域課題について考える」を主題に、合計10の地域課題について、グループ毎のワークショップを行いました。それぞれのアイデアが組み合わせたり、ユニークな解決策や提案が多く生まれました。糸魚川高校の皆さん、参加してくださったアドバイザーの皆さまのおかげで、実りの多い交流学習となりました。



本校の特徴的な取り組みの一つである「高校生ホテル」に国際観光科の2年生が挑みました。今回は白馬丸金旅館様と白馬縦の木ホテル様の全面的なご協力のもと、生徒たちは接客サービスやおもてなしの心についてプロから学び、実践しました。

事前学習では、スタッフの方々からチェックイン・アウト時のフロント業務や布団敷、レストランでの夕食の説明や配膳方法などを学びました。生徒たちは、接客業において大事なコミュニケーション力や接客力を磨きたい、海外からのお客様への接客を通して実践的な英語力を身につけたいという思いを持って準備に励んでいました。本番では、初めのうちは緊張した面持ちでの接客でしたが、徐々に緊張がほぐれ、はきはきとした声で丁寧にお客様をおもてなしする様子が見られました。夕食時には、覚えた説明をしっかりと行い、料理を提供することができました。以下生徒の感想です。

「お客様が『ありがとう』と声をかけてくれた時や、笑顔になってくれた時に大きなやりがいを感じることができた。」

「お客様の状況を見て臨機応変に対応しなければいけないことが大変だったが、周りとの声を掛け合いながら配膳することができた。連携することの大切さを学んだ。」

「お客様が自分の顔を覚えて声をかけてくれた時に、お客様とのつながりを感じることができた。」

二日間の実習を通して、生徒たちは宿泊業のやりがいや大変さ、おもてなしの心を学ぶことができました。今回の貴重な体験を生徒たちの進路・職業選択に活かしてほしいと思います。ご協力いただいた白馬丸金旅館様、白馬縦の木ホテル様、またご来館いただいたお客様に心より御礼申し上げます。



## 12月21日 タイ・インターナショナルスクールとの交流

タイ・インターナショナルスクールの中学生 25 名が、本校を訪問し、1年生と交流しました。

はじめに、タイの生徒が民族衣装を身につけて、タイの文化について英語で紹介してくれました。また、ムエタイを実演してくれたり、タイの伝統的な踊りを輪になって一緒に踊ったり、タイ伝統の灯籠流し「ロイクラトン」で使われる灯籠作りを一緒に行ったりしました。本校の生徒たちは初めて体験するタイの文化に興味津々な様子でした。

続いて、本校で準備をした茶道体験、折り紙、だるまさんがころんだ、タワー対決、ボルダリングをグループに分かれて体験してもらいました。限られた時間でしたが、英語やジェスチャーを交えながらタイの生徒と楽しく交流することができました。

コロナ禍により3年ぶりの対面での国際交流となりましたが、直接会って交流することの面白さを感じることができた時間となりました。

